

2015 10/13

No.2004

毎月第2・第4火曜日発行

政経かながわ

一般社団法人
—神奈川政経懇話会—



高校野球の県秋季大会決勝が4日、横浜市保土ヶ谷区のサーティーフォー保土ヶ谷球場で行われ、平田徹新監督(32)が率いる横浜が4ー0で桐光学園を破り、2年ぶり17度目の優勝を飾った。



政経かながわ

2015 10/13 No.2004

contents

視点・点描	3
変わる教育 行き着く先は	
講演録	4
「二期目に入った安倍政権とTPP国会」 政治ジャーナリスト 後藤 謙次	
経済	8
コア資源活用で既存路線離脱を 新市場切り開く「Z」型戦略	
社会	10
立法爆発～激増する法律数～ 条文ミスで申告な影響も	
企業最前線	12
「着る心電計」繊維各社が力 生体情報活用へ特殊素材開発	
くらし2015	14
ストレスによる腸の不調	
広告珍談	16
広告はたのしい① あるべきところに！	
NNAアジア経済リポート	17
会員のページ	18
設立50周年は来年4月に(その15)講演録抄録⑤ 会員の動き	
会員のページ	19
設立50周年は来年4月に(その15)講演録抄録⑤	

事務局だより

◇横浜定例講演会

2015年11月9日

13時30分～15時

ロイヤルホールヨコハマ3階

「シンフォニー」

講師は新潟県立大学教授、

青山学院大学名誉教授の

袴田 茂樹氏

演題は「動乱の世界情勢と日露
関係」(仮題)

◇神奈川政経懇話会

設立50周年記念特別講演会

2015年11月30日

14時～15時30分

横浜情報文化センター6階

「情文ホール」

女優の岩下志麻さんを講師に
お招きし、出演した作品のこと、
女優として歩んできた人生な
どをお話しいただきます。司会
は共同通信社編集委員の立花
珠樹さん。

視点



変わる教育 行き着く先は

8月に「18歳以下の子の自殺、夏休み明け集中」という、センセーショナルな話題がマスコミをにぎわせた。1972年から42年間のデータによると9月1日の自殺が131人と突出しており、次いで4月11日(99人)、4月8日(95人)、9月2日(94人)、8月31日(92人)が多いという。

72年からの積み重ねなのでこれ

はこれで意味のある数字だが、実

「7月20日に1学期の成績表を

もらって、9月1日から2学期を迎える」という日程は、もはや一般的ではないのだが、自身の体験に基づく「思い込み」はなかなか抜きがたいようだ。

夏休みの日程だけではない。教育カリキュラム、成績の付け方、奨学金の返済、ブラックバイト、高校や大学の入試制度。社会のありようとともに教育現場の変化も激しい。わが子が学齢になり、受験を迎えて、その変化にがく然とする人も少なくないだろう。現行制度をしっかりと理解しようとし、文部科学省は「大学入試改革」を、県教委は「県立高校改革」を、い348校。例えば横浜市立の夏休みは「原則7月20日～8月26日」だし、2学期制を採用している川崎市立は「夏・秋・冬を合わせて56日以内」と定める。

かくいう筆者も、昨年秋に教育

面の担当になつて、30年前の白身の常識からは考えもしなかつたことばかり。昼間に通う定時制、中学校と高校をひとつにまとめた6年制の「中等教育学校」、普通科と専門学科（昔は職業科とほぼ同一目標だった）のいいとこ取りを目指した「総合学科高校」。スクールバーゲン、インターナショナルハイスクールに国際バカロレア、クリエイティブスクール、インクルーシブ教育、カタカナの羅列にめまいを感じる。以前、学校週5日制が導入されただときは、もう少しゆっくりじつくり物事が進んだ印象がある。「善は急げ」より「そんなに急いでどこに行く」という言葉の方がしつづりくる。その行き先を知るために、カタカナ言葉の自己流（翻訳）を始めたところだ。

（神奈川新聞社教育担当部長
青木 幸恵）

あるべきところに—

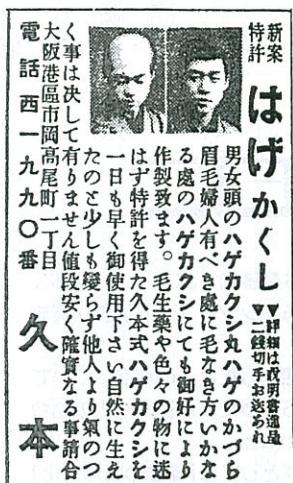
この2つの広告は、掲載当時たいへん注目され、熱心に読まれたと思う。あるべきところに、無い人たちからである。年取るとあきらめはつく。だけど若いときから無かつたら、どれほどつらいか、悲しいか、恥ずかしいか。そんな苦労人を知つてゐる。

だから仕方ないが、現在
ようなクスリを売つて、
高齢者になつたボクは、
高価なケハ工薬を買つて、
きて、生えてくれ生えて
くれと毎日、振りかけて
いる。だけどとどまるこ
となく、さつさとてつべ

gである。広告主はよほど広告効果を期待しているらしく、こんな広告もだした。かつらは『義毛』である。つまり義足、義手とおなじと。そして「医者や薬にたよらず、義毛をおすすめします」。わが家にもwigがある。ボクがかぶると、とつてもにあうけど、

いかなるところのハゲカクシにて
も、お好みにより製作いたします。

がつかれることは決してありませ
ん。値段は安く、確実なること請
け合い。



出したら世間の人はどう思うだろう。
うと。やっぱりやめました。
はてさて、どうしますか。アタ
マかかえて悩んでるアナタ！ ハ
ゲなんぞ、吹っ飛ばしてしまいな
さい。ハゲ頭からエゲたてたら、
ヤツラのほうでさつさと退散しま
すヨ。

やし、ぬけ毛を止め、髪の毛の生えぎわ、まゆ毛、ヒゲなどの薄き人。また皮膚病、できもの、ヤケドあと、はげ、その他、毛なきところに用いて、毛生えること請け合い」と、キキメを書く。

リ」だから絶大なキメありと、さんざん期待させておいて、いつこうにキメがないのである。

左の廣告は、『はげかくし』という。『男女頭のハゲカクシ 丸ハゲのかつら 眉毛 婦人あるべきところに毛なき方

(美術工ツセイスト、茅ヶ崎市在住)
(図右) 毛生液の広告 (図左) はげ
かくしの広告・いずれも明治末期

(美術工ツセイスト、茅ヶ崎市在住)
(図右) 毛生液の広告 (図左) はげ
かくしの広告・いずれも明治末期